



産直ニュース（農・畜・水産）6週号



生活クラブの産直材は、より美味しくより安心して頂ける様に生産者を指定しています。このため、天候・生育状況等によってはお届け週が予定変更になる場合や、緊急にお知らせが必要な場合もありますので、本ニュースで産地の状況をお知らせします。 生活クラブ関西

*納品書「次週以降のお届け」が上手く機能していません。果物類お届けは下表をご参考にして下さい。

今後のお届け品スケジュール

単協支所	大阪				京都		奈良	滋賀
	茨木	豊能	香里	門真	平野	西 東	奈良	滋賀
6週	登録いちごB(!)			予約いちご⑥(!)		キウイ⑤		
	ポンカン②			ふじ⑪中止				
7週	登録いちごA			予約いちご⑦		キウイ⑥		
	ポンカン③			ふじ⑫中止				
8週	登録いちごB			予約いちご⑧		キウイ⑦		
	不知火①							
9週	登録いちご2次A			予約いちご⑨		キウイ⑧		
	不知火②			清見オレンジ①				

*(!)は調整の可能性有ります。

お知らせ 産地情報

配達品（中でも特に生鮮品）については、配達当日に異常が無いかを確認して下さい。

もし異常が発見された場合は、配達当日に担当事業所までご連絡頂きますようお願いいたします。

■いちご（島原自然塾）

気温が高く推移して、粒が小さい段階で赤く熟れたことで1月に入ってからの出荷量が大きく減少しています。このため、一部曜日でのお届けが出来ない状況が続いております。ご迷惑をお掛けして大変申し訳ありません。

■みかん反省会

2/5、和歌山県下津町「協同の家」でみかん生産者が集まり、2019年出荷みかん反省会を開催。

2019年度シーズン予約みかんは台風被害のダメージが継続し、出荷予測量は必要量に大きく不足する状況となりました。このため企画週短縮（2週短縮）や規格少量対応（2kg→1.5kg）で調整し、欠品を起こさずにお届けすることができました。予約みかん総供給量は147,283kg（2018年対比88.3%）予約へのご協力ありがとうございました。

◇生産者カード

生産者が一番気になっている（良くも悪くも…）生産者カード。組合員から返されたカードを一枚一枚真剣な表情で目を通して見ます。配達週ごと、生産者ごとに集計されるのでその年の傾向が一目瞭然。

不作年で収穫時期に雨が続いたこともあり全体では「美味しい」評価が75.1%と前年の82.8%から低下し、生産者も残念な表情。但し、今シーズン取り組んだ「傷みの減少」については、大幅に改善が見られました。栽培の励みにもなり、品質の向上にも繋がる生産者カード…総回収枚数は約1700枚で回収率は2.5%と少なく、カード封入に手間をかけている労力やデータの蓄積等も考えてもう少し提出率を引き上げたいですね。皆さんのコメントも生産者のモチベーションに繋がりますので、是非カード提出にご協力をお願いします！



◇清見オレンジ園地視察

今シーズンから関西6生協で統一して取り組むこととなった晩柑中期。その一つである「清見オレンジ」はアイワ研究会と豊共園の2産地からの出荷となります。出荷に先立ち、豊共園：梶本さんの園地を視察しました。

「え〜〜スゴイ斜面！！」と、同行したアイワ研究会の山内さん（尾尻さんの後継者）が「どうやって作業するの？」と驚いていました。緩斜面の園地が多いアイワ研究会の地域に比べると下津や有田は急斜面が多く、川辺町でしか作業したことの無い山内さんには驚きだったようです。

果実にかかっているのは網のネット。柑橘シーズンの終盤で実が付いている樹は余りなく、鳥にとっては貴重な食料なのでそのままだとムクドリなどに食べ散らかされるための防御だそうです。

樹勢も良好な園地を前に、肥料をまく回数や時期を情報交換。

高齢（失礼…恒例でした）のアイワ谷口さんからは雑草処理のレクチャーでは多くの質問や意見交換がありました。